

# 令和3年度 京築地区中学校相撲大会要項

1 大会名 第59回京築地区中学校相撲大会

2 主催 京築地区中学校体育連盟  
京築地区各市町（学校組合）教育委員会  
共催 福岡県教育委員会

3 期日 令和3年7月22日（木） 開始式 9:00  
競技開始 9:20

4 会場 築上町相撲場

5 参加制限

(1) 団体対抗戦 オープン参加（1校1チーム）

(2) 個人対抗戦 各学校各学年3名以内

①1年生の部 ②2年生の部 ③共通の部の3部でおこなう。

6 競技方法

(1) 団体対抗戦 勝者数法

①予選（リーグ戦） ②決勝（トーナメント戦）

※原則として予選をおこなう。

(2) 順位決定方法

①チームの勝率

②チームの勝者数

③それでも勝敗が決まらない場合は、全員による再試合

④審判長は地区の専門部長がおこなう。

⑤副審は各学校の監督が交代でおこなう。

7 競技規則

(1) 日本相撲連盟競技会規則並びに福岡県中学校体育連盟の申し合わせ事項及び、日本相撲連盟審判規則、審判規定補足を適応する。

(2) 大会参加に際して引率・監督は、当該学校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては当該学校の教育職員とする。但し、教育職員以外のコーチは校長が認め、県中体連に登録し、承認を受けた者とする。

(3) 1チームは、選手3名、交替選手2名、監督1名

(4) 土俵の直径は14尺とする。

(5) まわしの前部にゼッケンをつける。

(6) 異議の申し込みは副審のみとし、その他の異議は一切受け付けない。

(7) 判定は審判長に一任する。

(8) 禁手

①髪をつかむ

②のど笛をつかむ

③親指をあごへ突っ込む

④筋肉をつかむ

⑤こぶしで突く、なぐる

⑥指を握って逆にする

⑦真っ向から蹴る

⑧前後の立帯をつかむ

（ 約束上の5つ ）

① はり手 ② 首かかえ ③ 指折り ④ 合掌 ⑤ その他危険と思われる技

※ 禁じ手および約束上の手をおかした場合は、1回は注意するが、2回おかすと合議の上、判定負けとすることがある。

8 表彰 団体：1位、2位 個人：1位、2位 (賞状：大2枚 小16枚)

9 申し込み 7月2日(金) 泉中学校

1.1 組み合わせ 組み合わせは専門委員会で決定する。

1.2 県大会出場について

団体の部は、オープン参加できる。個人の部で1位、2位になった者は県大会に参加する義務を負う。

1.3 その他

(1) AEDは本部に設置。

(2) Jアラート警報時は、試合を一時中断し、屋内にて安全を確保する。警報が解除され次第、試合を再開する。

.....切り取り線.....

学校名 ( ) 中学校		地区名 ( )		監督名 ( )	
団体戦		個人1年生の部	個人2年生の部	個人共通の部	
先鋒					
中堅					
大将					
補欠					
補欠					

- 受付
  - 窓口には、手指消毒剤を設置すること
  - 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
- 各校責任者は、参加者から以下の事項を記載した健康観察カードの提出を求め、大会終了後2週間保管すること
  - 氏名、年齢※個人情報の取扱いに十分注意する
  - 利用当日の体温
  - 利用前2週間における以下の事項の有無
    - 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
    - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
    - だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
    - 嗅覚や味覚の異常
    - 体が重く感じる、疲れやすい等
    - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
    - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
    - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 大会当日、以下の事項に該当する場合は参加を見合わせたり、速やかに帰宅させたりすること
  - 体調がよくない場合（発熱・せき・咽頭痛などの症状がある場合）
  - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- マスク等の準備
  - 参加者がマスクを準備しているか確認すること
  - 運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求め（運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする）
- 大会参加前後の留意事項
  - 大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避けること
  - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること
- 手洗い場所
  - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
  - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
  - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること）
  - 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- 更衣室、休憩・待機スペース
  - 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障がい者の介助を行う場合を除く）
  - 一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
  - 複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
  - 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- 飲食
  - 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えることにすること
- 洗面所
  - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
  - トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
  - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
  - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
  - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること）
- 飲食物の提供時
  - 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
  - 飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること
  - 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること
- 保護者の管理（適時アナウンスや掲示物でお知らせをすること）
  - 保護者の参加人数については制限を設けない。
  - 大会関係者や保護者同士が密な状態とならないようにすること
  - 大声で会話をしたり、声援を送ったりしないこと
  - 会話をする場合にはマスクを着用することなどの留意事項を周知すること
- 大会会場
  - 大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
  - 換気設備を適切に運転すること
  - 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと
- ゴミの廃棄
  - 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
  - マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること

